

# ブロック社協ニュース



11月26日(土)に京都府宇治市を開催地として行われた、「第5回全国校区・小地域福祉活動サミット in 宇治」に、清須市からはブロック社協の関係者等、総勢34名で参加しました。

今回は、サミットの様子を中心にブロック社協の活動を報告します！

## レポート 第5回全国校区・小地域福祉活動サミット in 宇治 つながり上手で地域をつくる! ~10のご縁で充縁に~

第5回目となる今回は、開催地・宇治市の観光名所である平等院鳳凰堂(10円玉)に因んで10の分科会を設け、10のご縁で充縁(じゅうえん)をサブテーマに開催されました。定員1,200人の会場に、1,900人を超える参加者が集まり、東日本大震災の発生を受け、いざという時の不安や少子高齢社会・核家族化などを背景とした現代社会への危機感から、人々の暮らしに密着した、小地域福祉活動への関心の高まりを感じるサミットとなりました。

### 【基調講演】



名誉実行委員長  
牧里 毎治 教授

名誉実行委員長である、関西学院大学牧里教授の基調講演では、無縁社会と言われる現代社会において、「家」と「庭」をつなぐ「縁側」の役割を説明され、家庭と地域社会の関わり、人と人とのつながりが大切であることをお話されました。

### 【10の分科会】

先進的な取り組みをしている様々な団体から活動の実践報告がありました。清須市はそのうち4つの分科会に分かれて参加しました。



↑参加者の皆さん

### 【参加者感想】

- 全国的に同じような活動が行われていることを知った。
- 地域の住民のつながりの大切さを再確認することができた。
- 自分たちの活動を見直すよい機会となった。
- 地域づくりを中心とした活動内容が参考になった。



↑まとめのパネルディスカッションの様子

### 【まとめのディスカッション】

各事例の発表者をパネリストとして、まとめのディスカッションを行いました。パネリストの1人である海老名さんは、普通の主婦であったが、「手伝ってください」と頼まれたことがきっかけで、地域の地区福祉委員会の活動に携わるようになったそうです。そこからボランティアセンターの運営委員や宇治市の福祉まつりの手伝いなどを通して、町内会から宇治市全体の活動に広がり、さらに東日本大震災では、気仙沼市へボランティアに行き、現地とのつながりを持ち、その活動は全国まで広がりました。

海老名さんの例から、人と人とのつながりが限りなく可能性を持つとともに、そのつながりが、再び町内会活動に活かされ、限りなく続いていくというお話を通じ、地域社会の中でつながりをつくっていくことの大切さが伝えられました。

# ブロック社協活動報告(10月~11月)

## 上条ブロック 「上条地区福祉懇談会」

(上条、上条住宅)



10月29日(土)  
午前10時~11時45分  
上条公民館  
参加者:17名

ボランティア活動が活発で、人が優しく住みやすいまち、上条。もっともっと住みよい町にしたいな。

## 清洲第5ブロック 「ふれあい・いきいきサロン」

(殿治屋町、桑名町、大津町)

11月13日(日)  
午前10時~11時30分  
清洲総合福祉センター  
参加者:25名

体操、歌、ピンゴゲーム、おやつタイム...など。楽しいひと時を過ごしました。



## 外町ブロック (外町)

### 「車いす講習会」

11月23日(祝)  
午前10時~11時30分  
外町コミュニティセンター  
参加者:43名



車いすの操作体験や介護に関する制度の学習をしました。車いすに乗って、「ちょっとした坂道でも怖いなあ」「坂道は、後ろ向きで下りればいいのか!」など、いろいろな気付きがありました。

## 落宮ブロック 「住民交流会」

(宮重、落合)

### 宮重大根づくし(宮重)

11月20日(日)  
午前11時~午後1時  
宮重町生活改善センター  
参加者:約80名



### カレー会(落合)

11月27日(日)  
午前11時~午後1時  
落合公会堂  
参加者:約50名

とてもにぎやかな交流会となりました。

## ブロック社協活動 今後の予定

### 1月の予定

- ★清洲第3ブロック「手話講座」  
1月22日(日)
- ★安城市視察研修  
1月25日(水)

### 2月の予定

- ★清洲第5ブロック「ふれあい・いきいきサロン」  
2月12日

### 定例開催

- ★外町ブロック「おしゃべりサロン」  
毎月第2水曜日
- ★上条ブロック「上条サロン」  
毎月第3水曜日

